

令和6年度 生徒総会（10/25） 副会長の言葉

今日は、真剣な話し合いをありがとうございました。今日の生徒総会を見て、改めて僕は「滑中生ってすてきだな」と思いました。

明日は合唱コンクールですが、この「合唱」と「学校のきまり」は切っても切り離せない関係です。昭和49年、男子の丸刈り等の校則見直しを求めて、当時の先輩方が何度も話し合いを重ねて、「自分たちで決めたことを、全員で守る集団になること」を約束して実施された「頭髪自由化」。以降、集団の自治力を向上させようと、各自の責任と仲間との協力が不可欠な合唱活動に、誇りをもって取り組んでいます。

そして今に至るまで、合唱活動だけではなく、学習や行事、部活動、生徒会活動などさまざまな活動において、自分たちで意見を出し合い、互いに認め合い、ルールを守り合って活動してきました。自治力がアップしてきた僕たちだからこそ、「滑中生なら、自分たちで考えられる。自分たちで守れる」と、今の僕たちのきまりへとさらに変わっています。僕は、生徒会とは「大人になったときの『民主主義』の練習」だと思っています。民主主義とは、みんなで決めること。そして、その決めたことをみんなで守ることです。決めたことを守れなければ罰則があるなど、そこには自由と責任が伴います。「自由」は素晴らしいですが、責任を取れない人は退場となる一面ももっています。ですが、滑中の「学校のきまり」は、自分たちで「自由」と「信頼」を勝ち取ってきた証です。今後も自分たちで「自由」と「信頼」を勝ち取っていけるように、自分たちで決めたことを、自分たちで守っていきましょう！